

2 地理歴史・公民

学校番号	113
------	-----

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校新地理A (帝国書院)						
副教材等	図説地理資料世界の諸地域NOW2020 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的な見方、考え方を学ぶ。</li> <li>・世界各地の地域性を理解する。</li> <li>・環境問題、資源・エネルギー問題、民族対立、災害などさまざまな課題を解決する力を身につけてくれることを期待する。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえる基礎的知識を身につける。</li> <li>・地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる自覚と資質を養う。</li> </ul>
---

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢	国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。	国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などの情報を正しく読み取り活用する力	国際社会の地理的課題について、理解するための知識
評 価 方 法	授業中の様子 レポート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査の論述問題 グループ発表 〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	定期考査の資料問題 プレゼンテーション 〔主題学習〕 ポスター	定期考査の知識問題 〔主題学習〕 内容のまとめ
※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。				

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀や地図からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上の位置と国家</li> <li>グローバル化が進む世界</li> </ul>	○			○	a:自分と世界との関連に気づき、グローバル化する世界の現実に興味・関心を持つ。 b:設定された主題(時差や領域など)について、現実に即して考察する。 c:設定された主題(時差や領域など)について、資料を収集し、有用な情報を選択してまとめる。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の諸課題と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活と地形</li> <li>人々の生活と気候</li> <li>人々の生活と産業・文化</li> </ul>	○	○	○	○	a:自然環境の違いに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。農業・工業・文化と自然環境とのかかわりに関心を高める。 b:自然環境と農業・工業・文化を多面的・多角的に考察し、その違いを適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:自然環境と農業・工業・文化について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	世界の諸地域の生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の生活と文化</li> <li>韓国の生活と文化</li> <li>東南アジアの生活と文化</li> </ul>	○	○	○	○	a:他国の自然・産業・社会・文化等に興味を持つ。 b:他国の自然・産業・社会・文化等の違いを適切に表現している。 c:他国の自然・産業・社会・文化等について必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:他国の自然・産業・社会・文化等について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート プレゼン レポート

2 学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アジアの生活と文化</li> <li>・中央アジア・西アジア・北アフリカの生活と文化</li> <li>・サハラ以南のアフリカの生活・文化</li> <li>・ヨーロッパの生活・文化</li> <li>・ロシアの生活・文化</li> <li>・アングロ・アメリカの生活・文化</li> <li>・ラテンアメリカの生活・文化</li> <li>・オーストラリアの生活・文化</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:他国の自然・産業・社会・文化等に興味を持つ。</p> <p>b:他国の自然・産業・社会・文化等の違いを適切に表現している。</p> <p>c:他国の自然・産業・社会・文化等について必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:他国の自然・産業・社会・文化等について理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート プレゼン レポート
	地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑にからみ合う地球的課題</li> <li>・世界の環境問題</li> <li>・世界の資源・エネルギー問題</li> <li>・世界の人口問題</li> <li>・世界の食糧問題</li> <li>・世界の都市・居住問題</li> </ul>	○	○		○	<p>a:地球規模の問題について関心を持ち、自分の問題としてとらえている。</p> <p>b:地球規模の問題を的確に説明できる。</p> <p>d:地球規模の問題について理解し、その知識を身につけている。</p>	プレゼン レポート 定期考査
3 学期	身近な地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるさまざまな地図</li> <li>・日本の自然環境と防災</li> <li>・身近な地域の課題と地域調査</li> </ul>	○	○			<p>a:身近な地域を知り、その課題に興味を持つ。</p> <p>b:身近な地域の課題について、その解決策を考える力を身につける。</p>	プレゼン レポート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:資料活用の技能      d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。